

次期データヘルス計画の策定について

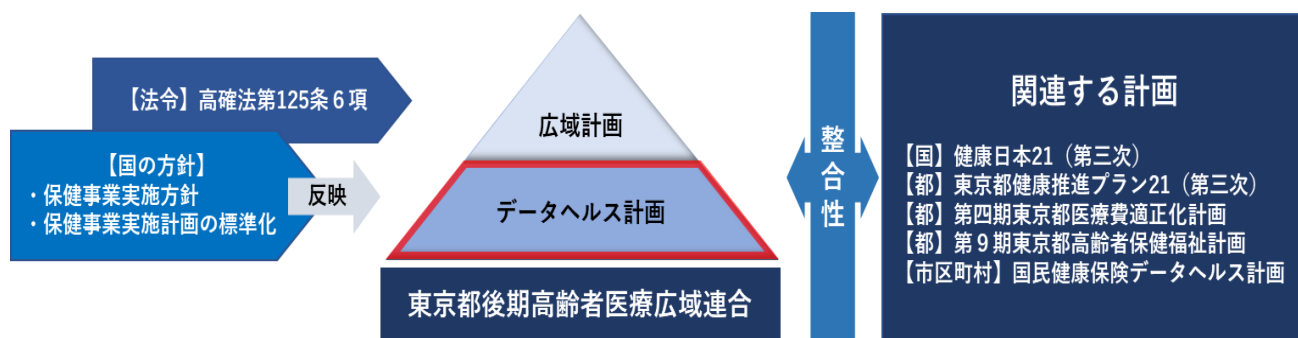
1 データヘルス計画の概要

高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）は、高齢者の医療の確保に関する法律第125条第6項の規定により公表される「高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針」に基づき策定する計画であり、「広域計画」の個別の実施計画に位置づけている。

現行の第4期データヘルス計画が、令和8年度末で計画期間の満了を迎えるため、令和9年度から令和11年度までの3年間を計画期間とする次期データヘルス計画を策定する。

また、都広域連合の計画策定と同時期に、全国の広域連合が策定している第3期データヘルス計画は、中間評価を実施することとなる。

なお、データヘルス計画は、都広域連合の実施する保健事業及び医療費適正化事業の方向性を示す実施計画となるため、上位計画となる広域計画をはじめとする関連計画との整合性を図り、策定するものとなる。



2 計画に記載する内容

高齢者保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引きより

| 記 載 項 目 | 記 載 内 容 |
|---------------|-----------------------|
| (1) 基本的事項 | 計画の趣旨、計画期間、実施体制等 |
| (2) 現状 | 保険者の特性、前期計画に係る考察等 |
| (3) 課題 | 健康・医療情報等の分析結果に基づいた課題 |
| (4) 目的及び目標 | 目指すべき目的、目的達成のために必要な目標 |
| (5) 保健事業の内容 | 計画に記載する保健事業、選定した重点事業等 |
| (6) 計画の評価・見直し | 評価の時期、評価方法等 |
| (7) 計画の公表・周知 | 策定した計画の具体的な公表方法等 |
| (8) 個人情報の取扱い | 個人情報保護に関する法令等の遵守等 |

3 計画策定の方向性と関係団体・運営会議からの意見聴取等

高齢者保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引きより示された内容から、基本的な方向性や標準化の取組みを進め全国統一で現行の計画が策定されている。

ただし、都広域連合以外の広域連合は計画期間を6年間としているため、策定の手引きは更新されないことが想定される。このため、原則として現行の策定の手引きを参照した形で策定を進めるが、中間評価の方針が新たに示された場合は、都広域連合の現行計画の評価については、その方針に沿って実施する。

また、計画策定にあたっては、運営会議、東京都、市区町村、東京都三師会から意見を聴取するとともに、パブリックコメントを実施し広く意見を聴取する。

さらに、第三者評価の視点から、保健事業・支援評価委員会（東京都国民健康保険団体連合会が設置）からの助言・支援を受ける予定である。

特に運営会議委員へは、様々な視点から都広域連合の計画事業の方向性や、重点事業の選定など、計画策定における軸となる部分について協議いただき、提言を受けたいと考えている。

4 計画策定スケジュール（予定）

| 時 期 | 内 容 |
|-----------|--|
| 令和8年4月～8月 | ・「高齢者保健事業実施計画策定の手引き」を元に、データヘルス計画原案を作成する。 |
| 9月～10月 | ・第1回運営会議において、次期データヘルス計画について審議依頼し、計画原案の説明・協議を行う。 ・計画原案について、保健事業・支援評価委員会からの助言・支援を受けるとともに、関係団体への意見聴取を行う。 |
| 11月 | ・第2回運営会議において、計画原案の説明・協議を行う。 |
| 12月 | ・第3回運営会議において、計画原案の説明・協議を行う。 ・聴取した意見等を元に、データヘルス計画案を作成する。 |
| 令和9年1月 | ・計画案についてのパブリックコメントを実施する。 |
| 2月 | ・第4回運営会議において、パブリックコメントの結果を説明し、次期データヘルス計画についての提言を受ける。 |
| 3月 | ・次期データヘルス計画を策定する。 |

5 計画策定スケジュールのイメージ図

次期データヘルス計画の策定スケジュール（予定）

